

あなたの今と未来を
つなぐ場所。

ハロートレーニング

 **NOKAIDAI**
ポリテクカレッジ

わたしの知らない、
わたしを見つける。



わたしたちは、
あなたが目指す未来像を
自ら選択できるようにするため、
徹底的にサポートします。

自分の作ったものが誰かを喜ばせ、
社会の役に立つこと。

時代のニーズに対応した、
知識と技能・技術をもった実践技能者や
生産現場のリーダーになること。

そんなやりがいのある仕事に就きたいと
思うあなたの夢を応援します。

あなたの今と未来をつなぐ場所。
それがポリテクカレッジです。



ポリテクカレッジで見つけた、 わたしのミライ。

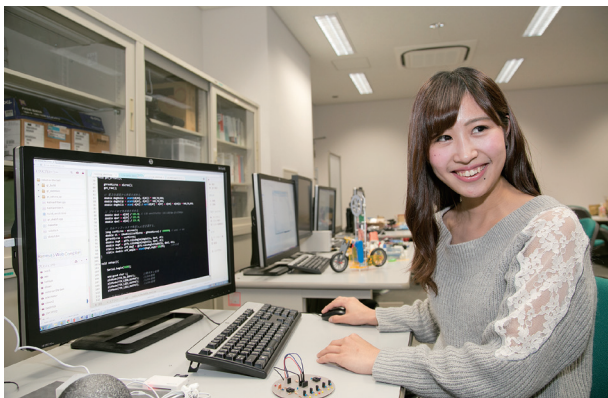
ポリテクカレッジは、充実した設備と実験・実習を重視したカリキュラムにより、
少人数制によるきめ細かい指導のもと、授業を実施しています。

授業以外にも地域企業との共同研究で課題やニーズを調査、
従業員への人材育成を通じて、地域のものづくりを支えています。

地域企業への就職実績と、今まで培ってきたノウハウで未来を創るお手伝いをします。

「介護が必要な方を、ものづくりでサポートするのが私の夢です」

近畿職業能力開発大学校 応用課程
生産電子情報システム技術科修了
日本電産株式会社 岩田 佳倫 さん



この分野を選んだきっかけは何ですか。

父のようなエンジニアになること、母が勤める介護業界の負担を軽減できる機械装置を開発したいと思ったことがきっかけで工学系の分野を選びました。実際、介護業界で利用される機械装置を製作するには機械システムや制御システムを学ぶ必要があり、この分野を学べる進路を探していたところポリテクカレッジを知り、先輩達の就職先を見て進学先として決めました。

仕事内容を教えてください。

私は、車載用モータの試作から生産のフェーズを担う部署に所属しています。その中で、製品の品質保証において重要とされているトレーサビリティシステムに関連した業務やそれを活用したビッグデータ解析、生産ラインの稼働情報可視化等のアプリ開発を行っています。

仕事の魅力は何ですか。

実際に、海外拠点の現場にて量産ラインの立上げ業務を行い、量産開始に立ち会うことが出来るというところに魅力があります。また、自身の開発したシステムやアプリが

導入・活用されることによって、生産性向上や収益向上に繋がることにやりがいを感じています。

ポリテクカレッジで学んだことは何ですか。

「情報系」「制御系」では、機械装置を制御するためのプログラム言語や手法を学び、さらに開発課題実習では機械系、電気系、電子情報系の3分野の学生同士でチームを作り、企業の生産現場を意識しながら課題に取り組むことで、生産における”繋がり”を学ぶことが出来ました。

ポリテクカレッジで学んだことがどのような場面で活かされていると感じますか。

開発課題実習を通して、多角的な視点を持つことの重要性を学んだことにより、現在、どのような業務においても、様々なリスクやその他への影響度を考える視点を持つことができ、より効率的な業務を遂行することに活かされていると感じています。

ポリテクカレッジに入ってよかったことは何ですか。

ものづくりの基本である企画、設計、部品発注及び製作の全フェーズを在学中に経験することができました。また、実習が多く、一人一台の機器が使用できたため、自身の理解度が深まりやすく、着実に成長できるということが自信に繋がりました。

今後の目標を教えてください。

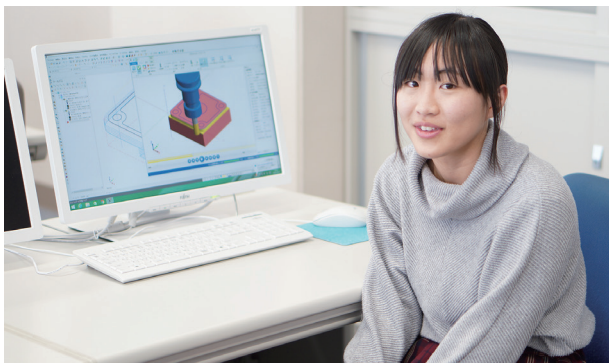
障害のある方や介護が必要な方の補助となる機器を製作したいという元来の目標に向け、その機器に必要な不可欠なモータに関する知識や製品開発、生産に関する経験を習得し、そのような方々の補助となる車載用モータの生産やシステム開発に携わっていきたいと思っています。



「消費者のニーズに応えられる、信頼ある技術者になりたい。」

北海道職業能力開発大学校 専門課程
生産技術科修了

日産自動車株式会社 西 彩華 さん



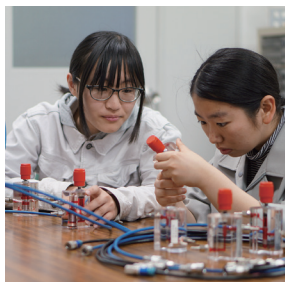
ポリテクカレッジを選んだ理由をお聞かせください。

私がポリテクカレッジを進路として選んだ理由はものづくりを学ぶ環境がしっかり整っていたからです。高校卒業後は、ものづくりがしたいという目的がありました。実際に手を動かしながら学ぶことができる場所で、設備が十分に整っているポリテクカレッジに魅力を感じていたからです。

また、少人数制で、きめ細かくサポートを受け学ぶことができることも決め手となりました。技術・知識をしっかり身につけることができるので選びました。

ものづくりの楽しさ、やりがいをもどるようなところに感じていますか。

ものづくりの楽しさは、図面に描いたものが、実物となって実際に動くことです。シンプルに聞こえますが、実際の実習で自分で設計したものがどんどん形になっていくこと、またそれが実際の機械の



部品となること。その過程には、自分が作ったという充実感があります。実際にやってみないとわからないことですが、これはとても楽しく、やりがいを感じられます。

ものづくりの分野で女性の技術者が増えることについてどう思いますか。

ポリテクカレッジに入って授業や実習を受ける中で、女性だからといって不便に感じたことはありません。女性の技術者が増えていくことは、これからの女性の多様性を考える上でも、いろいろな可能性が広がっていく点で、良いことだと思います。

機械加工の現場だと重量物を持ち上げるなど男性にかなわない部分はありますが、それ以外は十分対応することができ、女性だからこの仕事はできない、ということはないです。

今後の目標を教えてください。

私は現在、国内の大手自動車メーカーで働いています。まだ、入ったばかりということもあって、周りの同僚や先輩に教えてもらいながら、まだ手探りで仕事をしている状況です。その中で、ポリテクカレッジで工作機械を動かす経験や図面の見方を人一倍学んだことから、学生時代に勉強したことが「生かしているな」と感じる仕事が仕事によくできます。

電気自動車や衝突回避システム、運転の自動化など、今後も自動車技術は大きく変化していきます。こうした時代の変化や消費者のニーズに対応できる技術者となるため、これからも頑張っていきたいと思います。

そして、他者から認められるだけでなく、自分に自信を持って仕事に取り組んでいけるようになりたいと考えています。

「日本の優れた技術力を、海外に発信する技術者になりたい」

東北職業能力開発大学校 応用課程
建築施工システム技術科修了

大成建設株式会社 盛合 優斗さん



ポリテクカレッジで学んだことは、現在の職場でどのように活かされていますか。

建築の基礎から様々な専門知識と技術まで、ポリテクカレッジでは多岐に学ぶことができました。

建設会社に就職して、いざ業務に取り掛かったとき、ポリテクカレッジで得た知識量がかなり多かったことが分かり驚きました。特に現在目標としている一級建築士の受験対策に大いに役立っています。

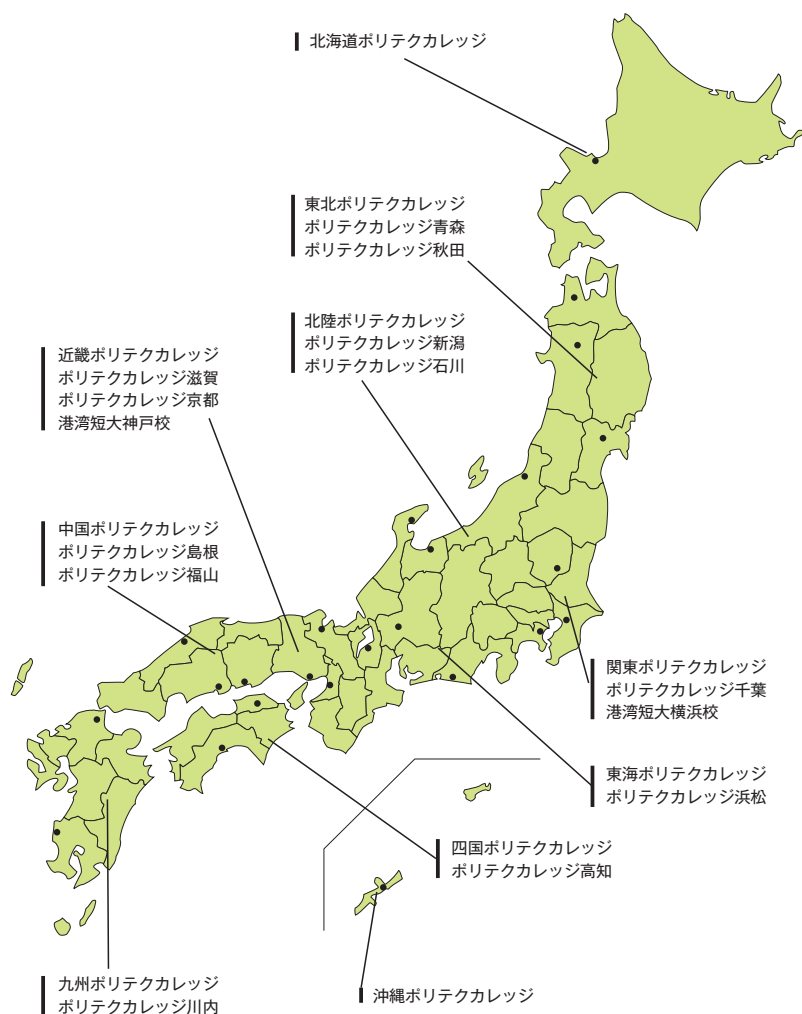
今取り組んでいる業務である大きな病院の新築工事の現場では、施工管理を担当しています。まだまだ学ぶことも多く日々勉強の毎日です。様々な場面での「報告・連絡・相談」が基本で、最も重要だと実感しています。今後、さらに経験を積んで、将来は日本の技術力を海外に発信できるような技術者になりたいと頑張っています。

全国24校！ ポリテクカレッジご紹介

職業能力開発専門学校・附属短大校・港湾職業能力開発短期大学校（横浜校・神戸校）を全国に設置しています。

技術革新に対応できる高度な知識と技能・技術を兼ね備えた実践技能者（テクニシャン・エンジニア）の育成を目的とした専門課程（2年制）、さらに産業界や地域のニーズに応じて、新製品の開発、生産工程の構築等に対応できる将来の生産技術・生産管理部門のリーダーを育成することを目的とした応用課程（2年制）を実施し、多くの人材を産業界に送り出しています。

※「ポリテクカレッジ」は、職業能力開発専門学校（専門課程、応用課程を設置）及び職業能力開発短期大学校（専門課程を設置）の愛称です。



高い「ものづくり力」を活かして、様々な挑戦をしています。

技能五輪全国大会への出場

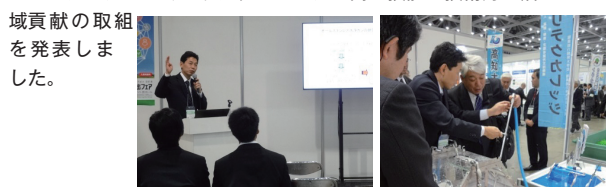
ポリテクカレッジの学生が、技能五輪全国大会の予選となる『第17回若年者ものづくり競技大会』や地方大会を勝ち上がり、『第60回技能五輪全国大会』に5職種（機械製図、電子機器組立て、工場電気設備、レストランサービス、移動式ロボット）6校16名が出場しました。『レストランサービス』において

銅賞を受賞するなど、ポリテクカレッジ学生の高い技能水準を実証しています。



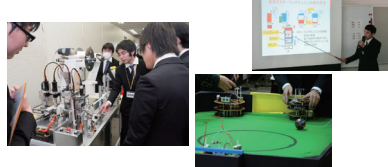
アグリビジネス創出フェアへ出展

ポリテクカレッジの「ものづくり力」、「人材育成ノウハウ」等を全国の産学官の関係者に周知し、更なる探求を図る取組の一環として、アグリビジネス創出フェア2022に産学連携による研究成果物など5校6作品の出展を行い、多くの評価を頂きました。また、研究・技術プレゼンテーションでポリテクカレッジの高い技能・技術力を活かした地域貢献の取組を発表しました。



ポリテックビジョンの実施

職業訓練の成果物の展示や研究発表、ものづくり体験コーナー、イベントを通じて「ものづくり」に関する教育訓練や研究開発の現状・水準などを、地域の企業や高校等に対して公開しています。



共同・受託研究

企業等が抱える技術力強化等の課題解決のため、企業等との共同研究や受託研究を行い、地域社会に貢献するとともに、地域産業界との連携を通じて、生産現場のノウハウや最新の技術動向を把握し、実験・実習の充実に役立てています。



タッチパネル画面



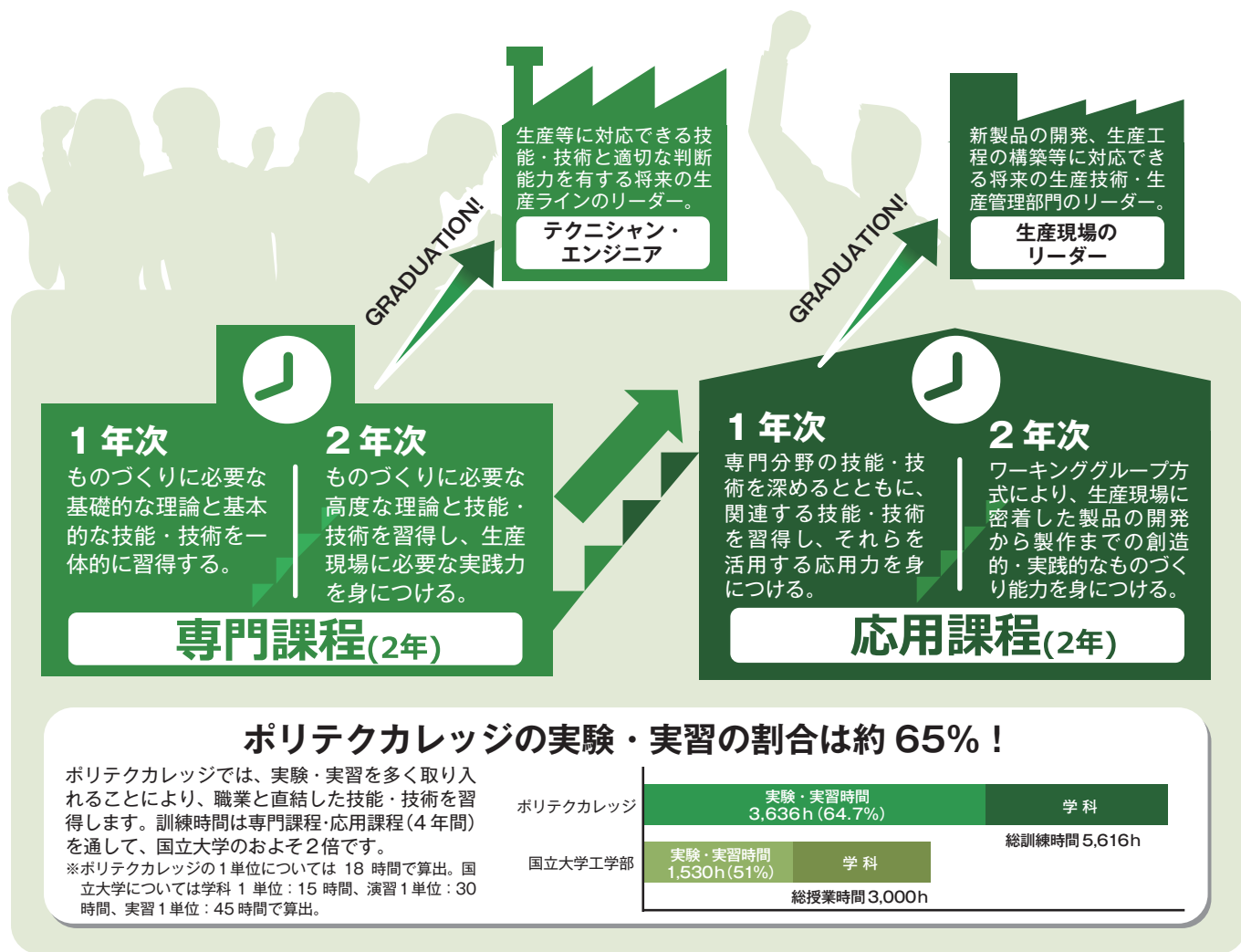
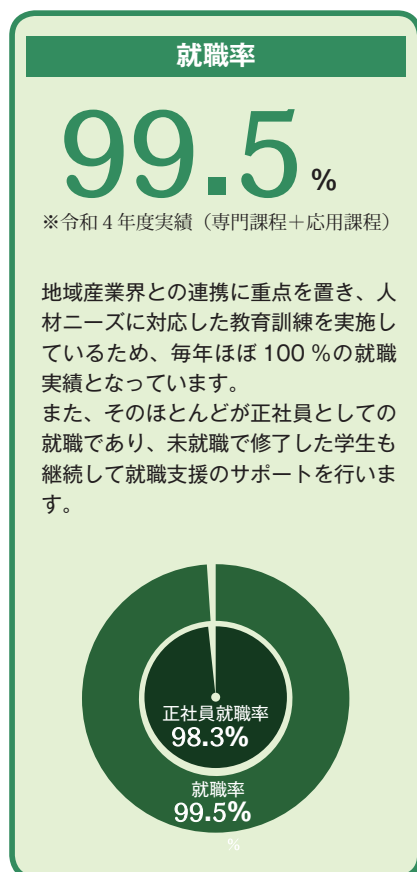
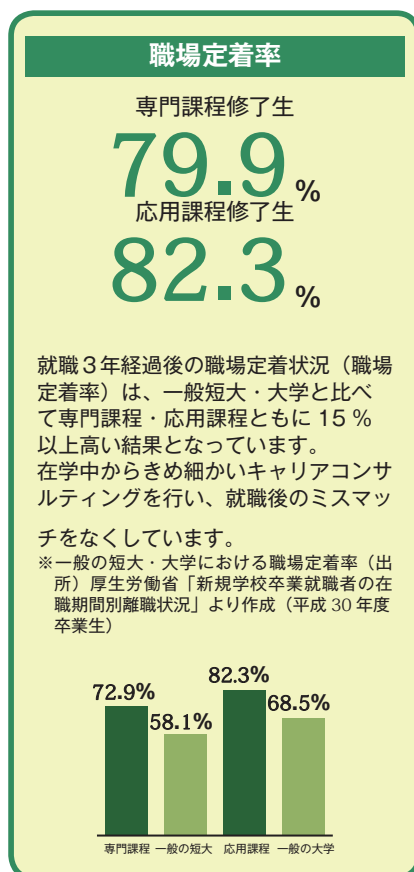
タッチパネル操作による自動コーヒー焙煎機の開発

地域の高校など教育機関との連携

地域の大学・高専や工業高校の教員に向けた研修や高校生に向けたものづくり体験講座などを実施し、地域との連携に努めています。

●令和4年度 281件 実施







独立行政法人
高齢・障害・求職者雇用支援機構
Japan Organization for Employment of the Elderly, Persons with Disabilities and Job Seekers

ポリテクカレッジ

検索

JEED（（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構）は、就職を目指す人、スキルアップを目指す人を応援する厚生労働省所管の組織です。

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構ホームページ

<https://www.jeed.go.jp/>



ハロートレーニング
—— 急がば学べ ——